



Smile インタビュー③⑥
Woman!
 この人の仕事のカタチ
 どこか輝いて見える「仕事」をしているあの人にズームアップ。

国境や性別、年齢を超えて 皆に楽しんでももらいたい

ダイビングスクールノリス岡山
 インストラクター
浜砂 かおりさん

まだまだ春の暖かい陽気には程遠い2月。「海」とは、一見とても疎遠な季節だが「真冬も含めて、ダイビングは一年間通して楽しめるのも魅力。究極は『流水の下を潜る』っていうのもあります。防寒具を着れば問題ありません」と、親しみやすく明るく話してくれるインストラクターの浜砂かおりさん。仕事が休みの日も、ほぼ毎週プライベートで海に出掛けるほど、ダイビングを愛する彼女に、インストラクターとしての姿勢や、ダイビングの魅力をたくさん語って頂いた。

ダイビングってカッコいい!~

元々水族館が好きで、そこから海に興味を持った浜砂さん。「イルカやクジラのように私も水中で自由になりたい」と思ったのがダイビングを志す第一歩に。「他にも、ダイバーや海をテーマにしたTVなどの影響で、純粹にダイビングってカッコいいって思いました」

憧れの職業に就いた浜砂さん、今やマレーシアやサイパンなど、海外のダイビングスポットにも数多く出掛けているが、「ツアーに参加して頂いたみなさんとダイビングをするのは本当に楽しいんです。ただ、自然が相手なので、どうしてもツアーの日に海が荒れてしまったり、にこってしまったりすることが、稀ですがあるんです。その時は本当に

申し訳ないなという気持ちになります」。屋外で行われるレジャーイベントが天候に左右されてしまうのは仕方の無いこと。ダイビングの楽しさが、自然と共存していることを十分にわかっているからこそ申し訳なさど同時に悔しさも出てしまう。

「宇宙旅行」みたいな感覚

「海の中は私たちの日常空間と違い、無重力空間で、違う世界に行ける『宇宙旅行』みたいな感覚のおもしろさがあります。参加者の方は20代〜30代が主ですが、10代の方もいれば、60代で参加してくれた方もいます」

ダイビングは水の中ということもあり、「見危険そうな気もするが、泳ぐのが苦手な方でも水の中で息をすることができると、安心して参加できるとのこと。浜砂さん自身も、障害を持った車イスの方と一緒に潜って楽しんでくるともあるという。「ダイビングは国境や性別、年齢を超えて皆が楽しめるスポーツ。多くの方にこの魅力を伝えたいですね」。ダイビングに興味を持たれている方、今年こそぜひチャレンジしてみてください。

